

www.nipponsteel.com











熱押形鋼

NSCarbolex Soution Series



鋼管



日本製鉄株式会社



富山県美術館 ©小川重雄

富山県美術館

まえがき

1941年(昭和16年)フランスでガラス質潤滑剤を 使用して鋼の熱間押出しに成功して以来、熱間押 出法による形鋼製品は、建築材料、機械部品など の分野に著しい伸展を遂げています。

当社では1960年(昭和35年)光(山口県)に熱間 押出工場を設置し、長年にわたり研究開発を重ね た結果、今日では品質優秀な各種熱押形鋼を製造 し、需要家のみなさまから多くのご好評をいただ いております。

ほかの加工法では得られない種々の特徴を持つ 日本製鉄の熱押形鋼を、機械の性能向上に、工程 短縮に、省力化に、コストダウンにご活用くださる ようお願いいたします。

目 次

1
2
4
6
8
3

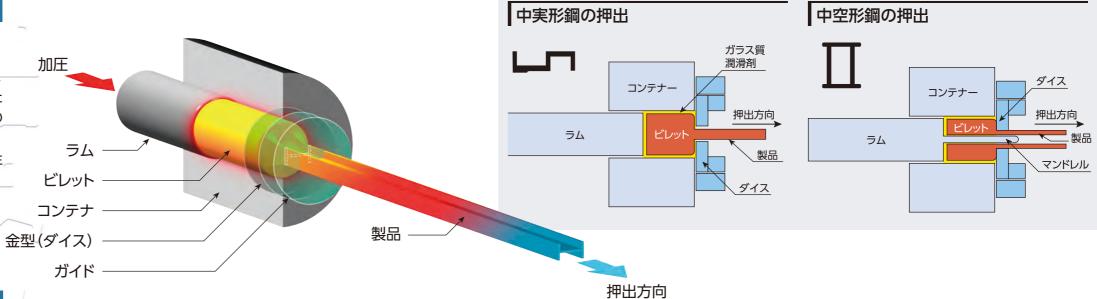
ご注意とお願い 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を 説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、 保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情

関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関 連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。 その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標また

熱押形鋼の特長

熱押形鋼は、熱間押出法により製造されます。熱間押出法は、 1200°C前後に加熱した丸ビレットを、様々な形状に機械加工した ダイスを通して押出し成形し、その後、引張りねじれ矯正などの 工程を経て製造されます。

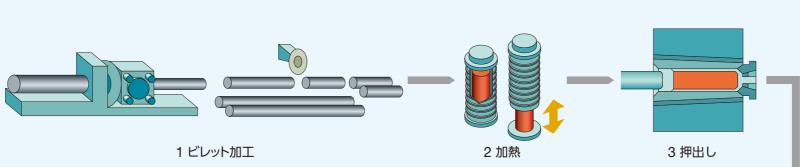
したがって、複雑な形状を持つ形鋼の製造や、多品種少量生 産の製品、また、難加工材の生産に向いています。



製造法のプロセス

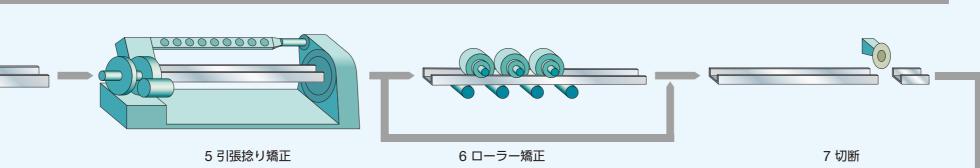


4 冷却

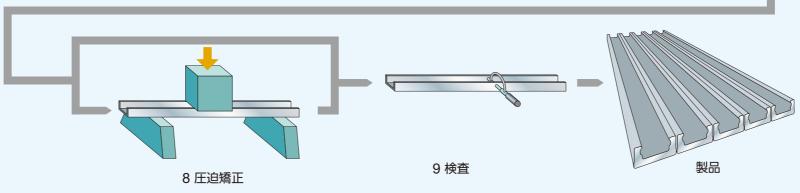










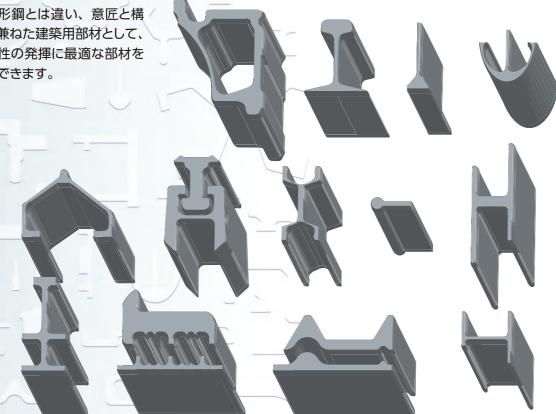




熱押形鋼のメリット

自由設計が可能です

ロール圧延で生産される規格 品の形鋼とは違い、意匠と構 造を兼ねた建築用部材として、 独創性の発揮に最適な部材を 設計できます。



切削工程を省略できます

素材から切出す従来工法と違い、熱押形鋼はダイスの穴型を通して 成形しますので、切削工程を大幅に省略できます。

従来工法

新工法



素材

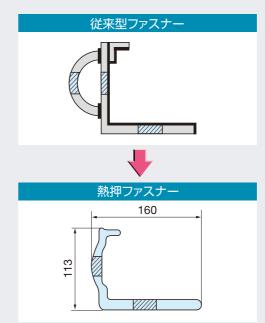






溶接工程を省略できます

素熱押形鋼は一体成形により製造されますので、溶接工数を削減、溶接時の熱変形を 矯正するひずみ取り工程の省略も可能で、コストダウンに大きく貢献できます。 さらには溶接部の品質低下を防止し、信頼性の向上を図れます。

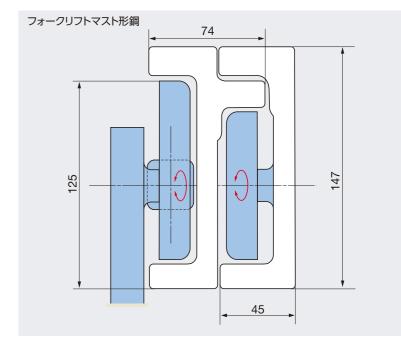


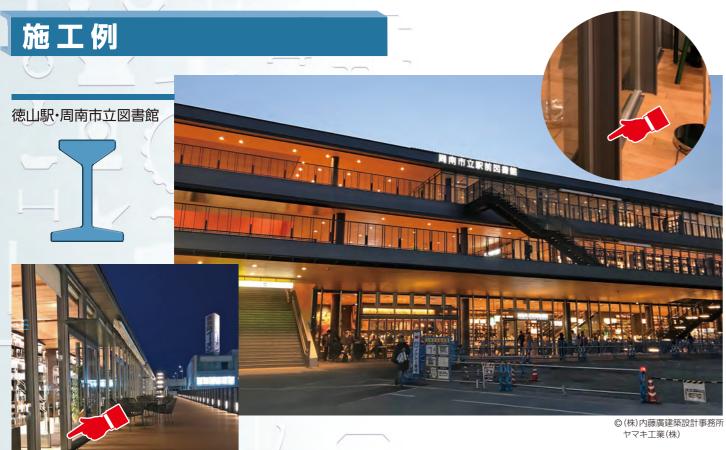


小ロット生産及びモデルチェンジに向いています

熱間押出し用の工具は、圧延方式で 使用する工具(ロール)に比べて工具 費用が約千分の一と遥かに安価です。

したがって、工具を替えるだけで 製品一本ごとの寸法形状を変えるこ とも可能なうえ、圧延方法では経済 生産上できがたい1トンからの小ロット 生産も可能です。













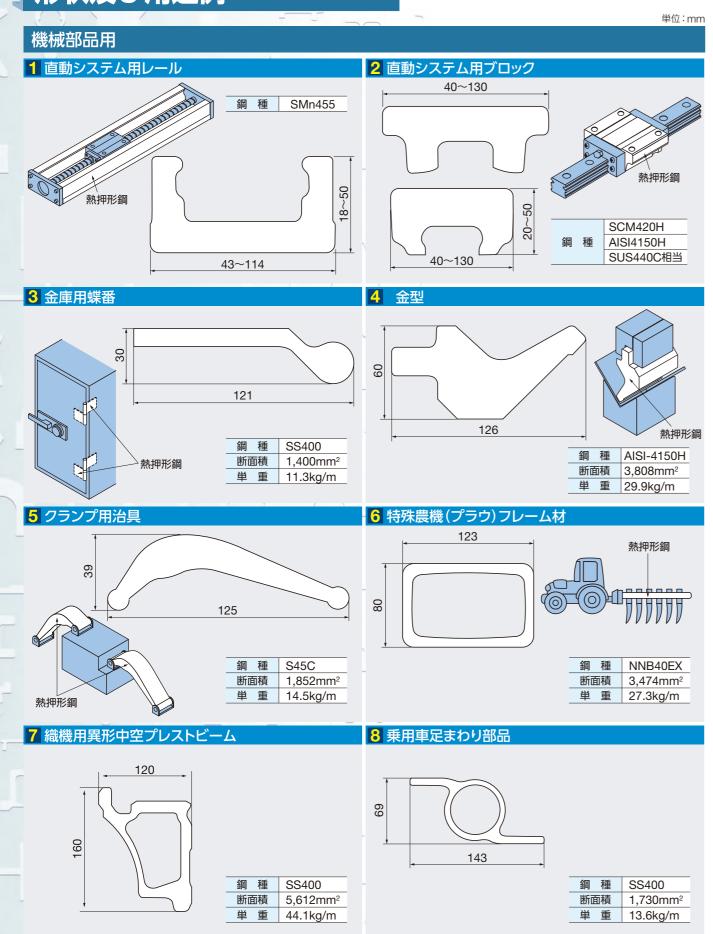
馬車道駅(みなとみらい線)

◎ヨシモトポール(株)

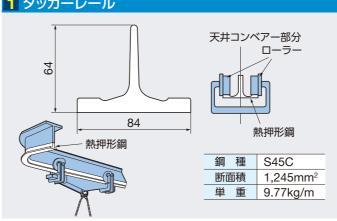


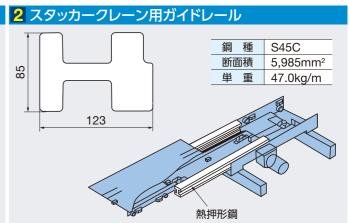
単位:mm

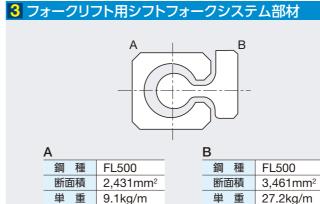
形状及び用途例

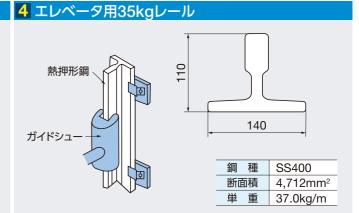




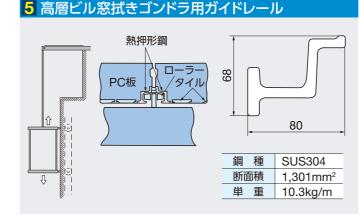


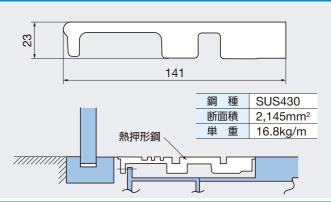


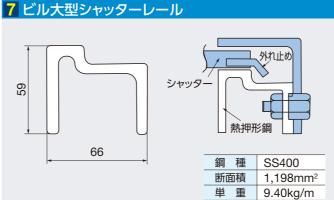


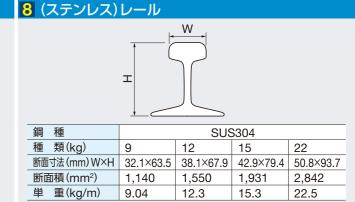


6 エレベータ用ドア敷居



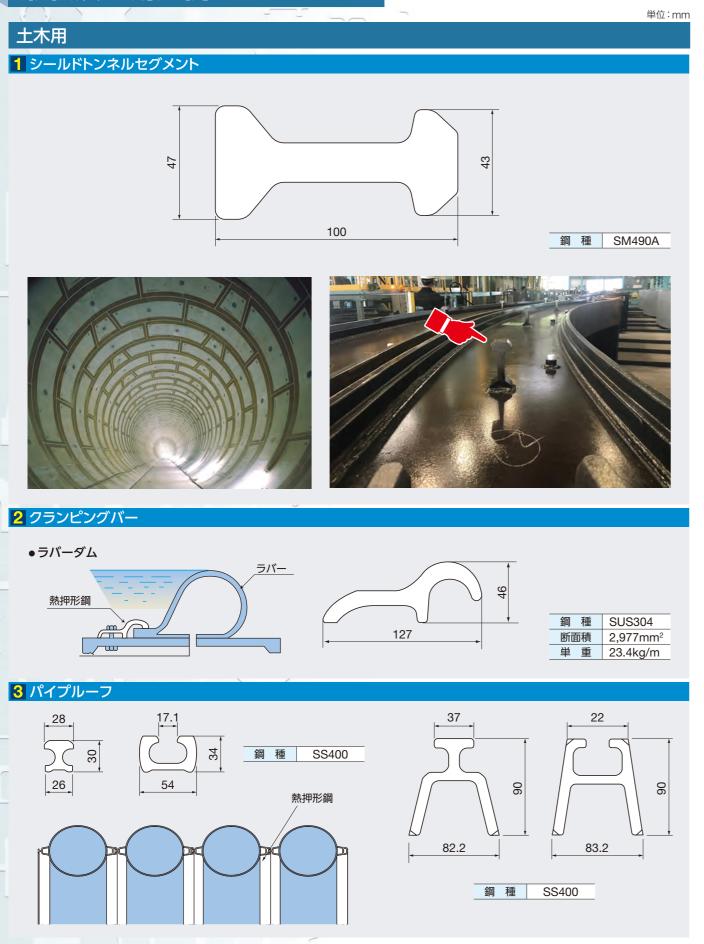


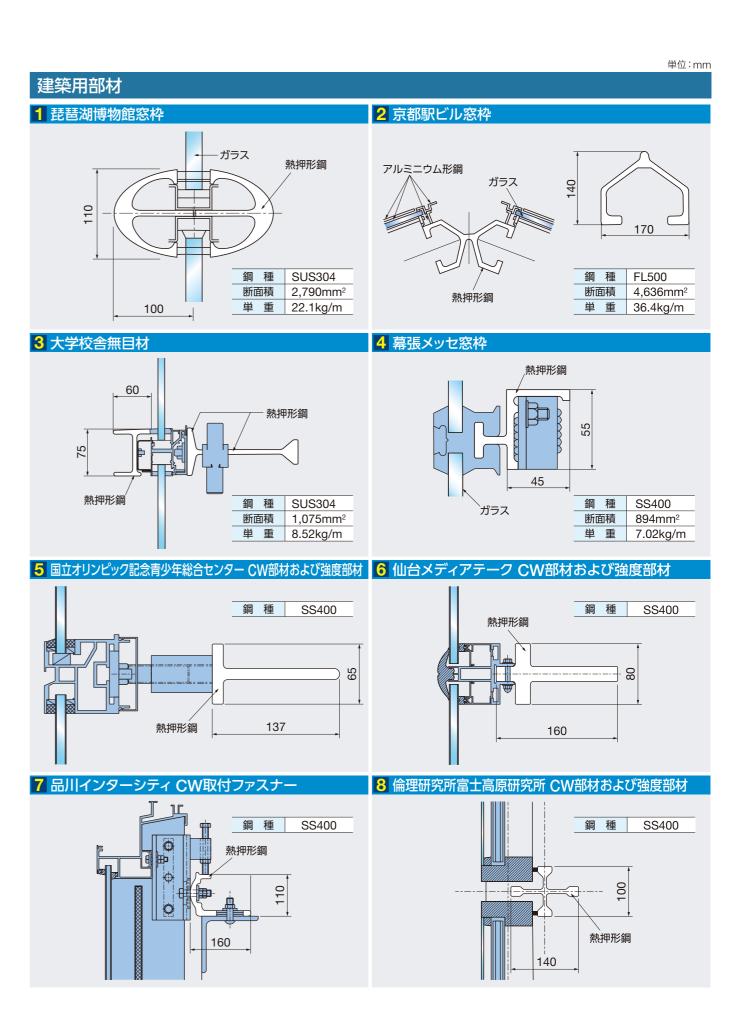




8 _

形状及び用途例





熱押形鋼の使用をおすすめします!

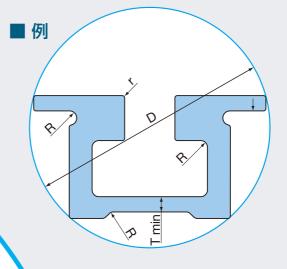
所要の形状でさらにコストダウンが可能。

φ215mmの円の中に、必要形状断面を描いて 問い合わせください!

当社の技術スタッフが個別に検討します。

実寸 φ215 mm

具体的な物件でご相談いただければ、当社の技術スタッフが個別に検討し 最適形状も含めてご提案いたします。



■ 製造可能範囲

外接円径 (D)	最大 <i>ф</i> 215mm
厚 さ (T)	最小 8mm* (形状により6mm)
コーナー (r, R)	最小r(凸側) 2mm
	最小R (凹側) 5mm
断 面 積 (S)	最小 300mm ²
	最大 8,000mm ²
長 さ (L)	1m~11m
質 量 (W)	最大本重 260kg/本
	The state of the s

※厚さの最小値は形状によって異なります。 上記条件から大小外れるものはご相談ください。

ご注文にあたって

■ 製造可能鋼種

炭素鋼、低合金鋼、ステンレス鋼

■ 受注後納期

在庫ビレットの場合 初回受注品75日、リピート50~75日 受注後出鋼対応可能な場合 初回受注品100日、リピート50~75日

受託押出U可能な場合 材料到着後、50~75日

■ 受注可能最小ロット

	リピートあり	ノンリピート
炭素鋼、低合金鋼	1トン/回	5トン
ステンレス鋼	0.2トン/回	1トン